



すべての仕事は明日につながる

愛知金属工業株式会社 取締役社長 池上尚雄

我が国の企業は国際経済の激しい荒波に洗われ、貿易摩擦、円高、ニーズの多様化・高度化・ソフト化の克服に心血を注ぎ、血まなこになって企業として生きる道を模索している。この中で生き残れる企業とは、発足時の業態とはかなり異った発展的、多角的展開を成功させた企業に限られ、旧態依然とした企業にはもはや衰退への道しか残っていないのではないだろうか。

この様な環境下、当社としては企業基盤の充実強化と将来の飛躍のために、次の重点課題を定め推進中であります。

1. 原価体質の強化

もうける企業体質づくりをめざし、諸制度の改革を実施してきたが、まだまだ原価体質が強化されたとは言えない状況にある。したがって経営基盤の点検・整備をさらに進め、設計、生産、管理・間接各部門の徹底した合理化を行う。

2. 積極経営への展開

今後の厳しい経営環境に対処するために、技術力、開発力を強め、撃つて出る営業への転換を図り、売上高拡大にチャレンジする。そのためには、全従業員が市場情報のアンテナであることを自覚し、マーケットニーズの把握に努め、生産技術力の向上と併せ新製品の開発、新事業の開拓に積極的に取り組むこととする。

3. 活力ある会社づくり

従来の発想から脱却して、果敢にチャレンジする精神と、積極的に問題解決する姿勢・能力を身につける必要がある。このため、モラルの向上、個人資質向上のための教育の充実と、働きがいのある人事諸制度、厚生諸施策の改善をはかる。

以上の重点課題は63年度のみで完結するものではなく、中期計画の第一歩であり、「すべての仕事は明日につながる」という心構えで実効をあげていかなければならないと考えております。

愛知グループの一員として、また中部電力の関係会社として、社会のお役に立てるべく、新製品の開発・新事業の開拓をめざす開発部の設置をはじめとして新技術の導入・開発に努める所存であります。

より一層の御支援御協力をお願いするものであります。